



常石グループのパラグアイ事業

2016年12月8日 Astillero Tsuneishi Paraguay S.A. 取締役 飯塚 正明

常石グループ体制図



TSUNEISHI HOLDINGS

ツネイシホールディングス株式会社

造船事業



TSUEISHI

常石造船株式会社

常石鉄工株式会社

常石商事株式会社

常石エンジニアリング株式会社

TSUNEISHI HEAVY INDUSTRIES (CEBU), Inc.

常石集团(舟山)造船有限公司

海運事業



神原汽船株式会社神原ロジスティクス株式会社

サービス事業

ツネイシLR株式会社 ツネイシビジネスサービス株式会社

環境・エネルギー事業

ツネイシCバリューズ株式会社 ツネイシカムテックス株式会社

その他

一般財団法人 ツネイシみらい財団 ツネイシチャレンジド株式会社

※主要企業のみ記載

造船工場 展開拠点









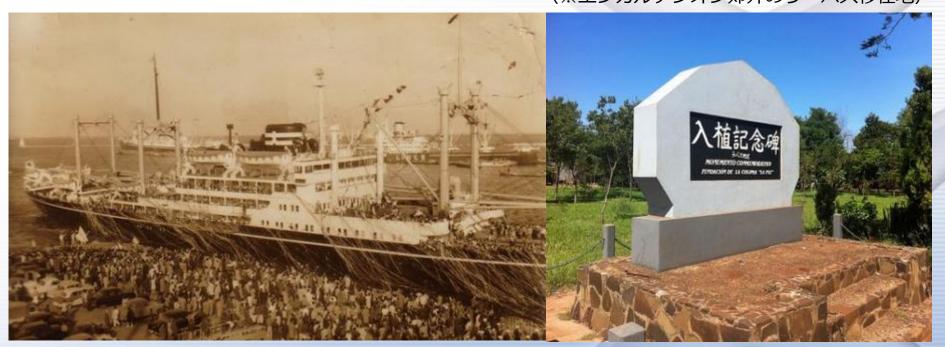
その他Productの一部



常石グループとパラグアイ(初期)

- ・パラグアイとの関係は、戦後復興期の1956年に開始。
- ・当社2代目社長の神原秀夫が広島県沼隈郡(現・福山市) 沼隈町の町長として、パラグアイへ移民団を結成。
- ・1956年10月に第一陣が神戸を出航。

(※エンカルナシオン郊外のラ・パス移住地)



常石グループとパラグアイ2(中間期)

- ・1957年に神原汽船がパラグアイのエンカルナシオン (日本人移住地区の中核都市)に事務所設立。
- ・1981年にパラグアイの穀物、綿花の輸出に貢献するため 河川輸送の「神原パラグアイ」を設立。

〔備考:ウルグアイとの関係〕

- ・1975年10月に「神原ウルグアイ」を設立。同国のロチャ県で農牧用地 17,000Haを購入し事業開始。〔稲作・放牧を現在も継続〕
- ・1982年3月にモンテビデオに造船所を竣工(船台2000トン級)。 パラグアイ国営商船隊向けタンクバージ4隻、他客船/漁船各2隻建造。







常石グループとパラグアイ(現在)

《現在の関係》

- ■進出企業 ※詳細は次項以降
- Astillero Tsuneishi Paraguay S.A.
- Tsuneishi Paraguay Iron Works S.R.L.
- GL South America S.A.
- TCV Paraguay S.A.
- ■備考:常石グループにて創設
- ・神原基金(主に農業基盤整備の推進)
- ・パラグアイ神原育英会(日系への奨学金給付、助成金給付)

パラグアイでの事業展開

1.Astillero Tsuneishi Paraguay S.A.

・事業内容 : 河川輸送用プッシャー/バージ建造

:船舶の改造/修繕

·設立年: 2008年10月(2011年造船所建設)

·従業員数 : 279名(2016年8月末/協力会社含む)

※Tsuneishi Paraguay Iron Works S.R.L.
(船舶艤装品製作、船舶艤装工事、パイプー品管の製作および取付)







2011年 2014年

2015年

パラグアイ事業の背景

■ パラグアイ国の位置関係

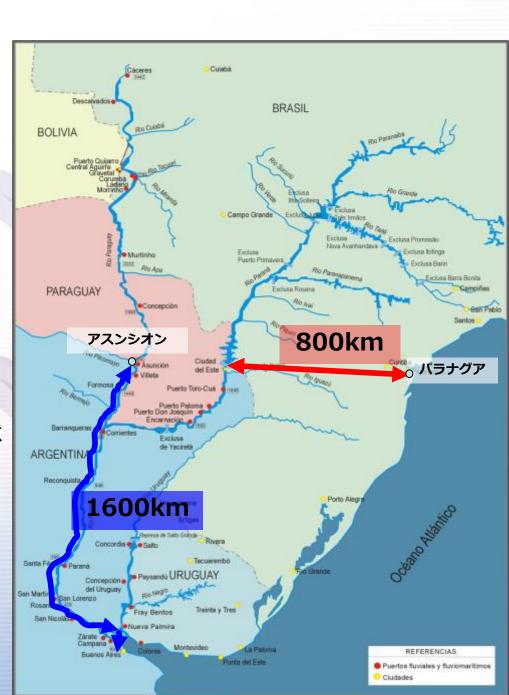
南米大陸の中央に位置。主な輸出入経路は陸路を通じたブラジルのパラナグア港、または河川を通じたウルグアイ、アルゼンチンの港湾へと限定され、8~9割を河川輸送が担う。

■ 穀物・鉱物資源需要の高まり

ブラジル南西部、ボリビア産も含めた穀物や鉱物資源等に対する需要、更には、パ国経済成長に伴う石油等の輸入が増加。このため、パラグアイ河を利用した河川輸送は、その取扱量が拡大しつつある。

■ パラグアイ川における河川輸送の現状

パラグアイ河の河川輸送手段は、過去に米国等から輸入された中古船舶が中心のため、近代化や効率化が求められている。このような状況から新型で効率性の高いプッシャーボートやバージの建造、および現在運行中の船舶の改造/修繕に着手し、パラグアイ河の河川輸送の活発化・円滑化に貢献するものである。



 パラグアイ、 ブラジル、ボリビ アの穀倉地帯より 大豆、大豆粕、ト ウモロコシを河川 港に陸送

② 各国河川港に て、バージ12艘~ 16艘の船団に穀物 を積んで河川輸送

③ ウルグアイの Nueva Palmira港 又は、アルゼンチ ンのRosario港で、 外航船 へ積み替 え、アジア等へ輸 送



商品ラインアップ

■河川ばら積みバージ

3種類の河川ばら積みバージ建造ラインアップに続き、2015年よりタンカーバージの建造に着手。

Dry Barge

- D/W 1,500mt Type (Box & Rake type)
- D/W 2,500mt Type (Box & Rake type)
- D/W 3,000mt Type (Box & Rake type)

Tank Barge

D/W 3,000mt Type (Box & Rake type)





■プッシャーボート

河川輸送にはプッシャーボートが不可欠。 2015年10月に第1番船(6000馬力)の引渡を終え、 2016年には第2番船の引渡を予定。

パラグアイでの事業展開(造船以外)

2. GL South America S.A.

·事業内容 : 農業、牧畜業、林業、河川輸送、土木·建築業

· 設立年 : 2013年5月

·従業員数 : **29名**(2016年8月末)

·備考:総面積25,500ha、飼育牛約2,400頭

※総面積の11,283ha(44.2%)は自然保護区〔ラムサール条約〕







パラグアイでの事業展開(造船以外)

3. TCV Paraguay S.A.

・事業内容:自動車整備修理業、各種リース業

: 自動車部品の販売等

· 設立年 : 2014年6月

·**従業員数**:**6名**(2016年8月末)

(※日本の常石工場で解体)



(※リース物件)



(※リース物件)



パラグアイでの労働環境整備

日本人向け寮 単身・独身寮/家族寮/食堂など







パラグアイでのCSR活動

2007年

パラグアイ神原基金、及び、 パラグアイ神原育英会を設立。



2015年9月

平成27年度外務大臣表彰を受賞

【受賞理由】

パラグアイにおける地域農業振興への寄与、奨学金給付による日系人の人材育成、相 互理解促進への貢献。



パラグアイでのCSR活動

2014年7月

パラグアイ洪水被災地に 2,250枚の毛布を寄贈



2015年10月

地元STELLA MARIS幼稚園に お菓子・ジュースや玩具を寄贈



パラグアイでのビジネス環境(比較優位)

- 経済発展の潜在力
 - ▶大豆、コーン、食肉等の一次産品が豊富で、 二次産業発展を通じ、経済発展の余地あり。
 - ➤総人口の約70%が35歳未満で構成。労働力の コスト競争力がメルコスールで最も高い。
 - ※メルコスール:ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ他
 - ▶イタイプー、ヤシレタの2大国際ダムによる 豊富な再生可能電力エネルギー。
- マクロ経済の安定と機動的な政府
 - ▶地場通貨は約70年間、発行以来デノミなし。
 - >低稅率(周辺諸国比)、各種投資優遇。

パラグアイでのビジネス環境(課題)

- 社会資本
 - ▶社会資本全般が開発段階。
 - ▶送配電・通信インフラ。
 - ▶交通インフラ・システム。
- 人的資本
 - > 労働年齢層が低い分、中間管理層が発展段階。
 - ▶職業訓練所を通じた自立支援。
- その他
 - >通勤手段確保(特に郊外の場合)。



ご清聴ありがとうございました。

